

回 覧

令和 5 年 8 月 10 日

各 位

由布市役所湯布院振興局地域振興課長

旧湯布院公民館跡地の整備内容について(パブリックコメントの実施)

湯布院公民館跡地の整備については、令和5年1月から2月にかけて設計者の公募を行い、応募のあった5者について3月25日に公開プレゼンテーションを実施して設計者を選定しました。

その後、整備内容については、4月24日から26日の3日間で「市民団体ヒアリング」(14団体71名参加)、5月23日・24日の2日間で「市民懇話会」(64名参加)を実施し、市民の皆さんの意見を取り入れながら、基本設計を進めてきたところです。

今回、最終的な整備内容を決定するため、上記の手続きを経て作成した最終案について、さらに広く意見を聴取するためパブリックコメントを実施します。

資料についてはA3用紙で計6枚あります。(1枚目:経緯と基本的な考え方 2枚目、3枚目:設計内容 4~6枚目:参考資料 ヒアリング等で出た意見。これを参考に現案を作成)

ご意見がある場合は、大変お手数をお掛けしますが、ご住所(自治区)、お名前を記載の上、以下の方法にてご意見等を頂きますようお願い致します。

※申し訳ありませんが、電話でのご意見等は諸事情により、お受けできませんのでご了承ください。

【ご意見の送付方法】

封書、ハガキ、FAX、電子メールにて下記に送付願います。

様式等は問いませんが、ご住所(自治区)、お名前の明記はお願いいたします。

【送付先】

住所 : 〒879-5192

由布市湯布院町川上3738番地1 ゆふいんラックホール内

由布市役所湯布院振興局地域振興課地域振興係 宛

FAX : 0977-85-3104

電子メール : y_sinko@city.yufu.lg.jp

【受付期間】 令和 5 年 8 月 31 日 (木) まで

○公民館跡地整備設計に至るまでの経過

実施日	内 容	詳 細 等
令和 4 年 10 月 18 日	第 1 回旧公民館跡地整備設計業務 委託プロポーザル選定委員会 (以下プロポーザル選定委員会) ・募集内容の審査	・委員委嘱 8 名 内訳 学識経験者 2 名 市民代表 4 名 関係機関 1 名、行政代表 1 名 ・更なる市民意見の聴取が必要 とし、市民懇話会を開催するこ とを決定。
令和 4 年 11 月 21 日	公民館跡地利用市民懇話会 ・ 84 名参加	・ 答申書の説明と跡地の整備 内容について意見聴取
令和 4 年 12 月 19 日	第 2 回プロポーザル選定委員会 ・ 募集内容の協議：要項等	
令和 5 年 1 月 24 日 (火) ～2 月 27 日 (月)	由布市旧湯布院公民館跡地整備 設計業務委託公募型プロポーザル 実施 (設計者の公募)	HP 上に募集要項等掲載し募集
令和 5 年 3 月 3 日	第 3 回プロポーザル選定委員会 プロポーザル 1 次審査	・ 書類審査の結果、応募 5 者が 最終審査へ
令和 5 年 3 月 25 日	第 4 回プロポーザル選定委員会 設計者選定のための公開プレゼ ンテーション及びヒアリング実施 ・ 傍聴者：23 名 プロポーザル最終審査 (非公開)	・ 最優秀者として小野寺康都市 設計事務所が選定され市長へ 推薦
令和 5 年 4 月 7 日	最優秀者と整備設計業務について 委託契約締結	
令和 5 年 4 月 24 日 (月) ～4 月 26 日 (水)	公民館跡地整備に係る団体等ヒア リング ・ 14 団体 71 名参加	※資料 4 枚目
令和 5 年 5 月 23 日 (火) 5 月 24 日 (水)	公民館跡地整備に係る市民懇話会 ・ 設計内容の説明と意見聴取	※資料 5 枚目 6 枚目

○跡地整備の基本的な考え方 (旧湯布院公民館跡地整備基本構想より抜粋)

コンセプト：「住んでよし。訪れてよし。」の湯布院を象徴する空間

跡地整備については、湯布院地域の玄関口というだけでなく、市民生活の中心地という立地のため、まさに湯布院を体現する場所として注目される重要な場所になります。

これから 10 年後 20 年後を経たとしても、まちづくりの理念を継承していくため、以下のように基本的な整備方針を定めます。

(1) 地域の中で子どもが安心安全にすくすく育つ環境づくり

子どもは、将来の由布市を担う大切な財産です。すべての子どもたちが健やかに育ち、笑顔を決やさないことは、誰もが願うことであり、そのための環境をつくることは今後 20 年先 30 年先の湯布院地域の未来を創ることにもつながります。

公民館跡地は町の中心部であり、小学校、児童クラブ、市役所、公民館、図書館等、生活に欠かせない施設が隣接しています。市民の往来も盛んな場所ではありますが、公民館、図書館を利用する親子連れや子供たちだけでなく、第 3 児童クラブを設置することにより、多くの子どもたちの顔が見える場所として跡地周辺を安心安全に過ごせる場として整備を行います。

(2) 由布院地域の玄関口としてふさわしい空間～まちづくりの観点から

「日本近代公園の父」と呼ばれた本多静六博士が「湯布院温泉発展策」として、「森林公園の中に町があるまちづくり」を進めるべきだと提唱。それから 100 年の年月をかけて、『静けさ』と『緑』と『空間』。この 3 つを大切に、湯布院地域のまちづくりは行われてきました。

公民館跡地においては、今後 20 年、30 年を経てもこのまちづくりの理念を壊すことのないような整備が望まれます。

そのため、玄関口としてそのようなまちづくりを行ってきた由布院を感じてもらうため、敷地内に訪れた人だけでなく市民も立ち寄ることのできる、緑の空間を設けることとします。

(3) 周辺が抱える地域課題を解決する空間

跡地については交通の要所であるバスセンターも隣接しています。このような交通の重要な結節点であることに加え、大勢の人が町の中心地である跡地周辺のエリアを訪れるため、どうしても交通混雑が起こり、住民の日常生活にも支障をきたす状況となっています。

そこで、平成 14 年に実施した交通社会実験をはじめ、様々な交通課題解決の試みを積み重ねてきた中から、自家用車をまちの中心に入れないことや、路線バスの進行方向の変更が行えないかなど、市としても長年に渡る交通課題の解決を図るため、跡地を隣接するバスセンターと一体的に整備することで、抱えている地域課題を解消できるようにします。

デザインコンセプト

■由布院の風土でつくる、ここしかない児童クラブ

- ・ 緑で周辺地区をつなぎながら、由布岳の眺望を生かした優れた場所性を最大限に生かして施設を配置します。
- ・ 子どもたちを通じてその家族らや地域の方々とも連携が図りやすい、開放的で気持ちのいい空間を実現します。高齢者や障がいのあるの方々など、すべての人がその人らしく充実できる時間が過ごせるような施設とします。
- ・ 地域のシンボルとなりうる明確なフォルムを与えながら、周辺の緑や眺望と一体になった、懐かしさや温かみのある由布院らしい児童クラブをデザインします。

■緑と高低差を生かし、周辺地域をつなぎ合わせる配置計画

- ・ 児童クラブの床レベルは、浸水深を考慮し、大雨でも水に浸からない安全なレベルに設定します(高さ+455.3)。
- ・ その高低差を生かして由布院小学校と児童クラブを直接つなぎ、日常的な溜まり場や遊び場に活用するとともに、運動会などのイベント時には観客席となり、また家族でお弁当を食べる休憩場にも活用できるような空間を校庭に接してデザインします。
- ・ 由布院駅周辺エリアから「ゆふいんラックホール」へ続く里道を確保し、これを駅前通りとも歩行者動線でつなぎます。

■周辺道路における歩行者の安全対策を提案

- ・ 大型バスが市道乙丸線に直接出入りすることから、歩行者動線の見直しを検討します。
- ・ 現在市道乙丸線の西側には狭い歩道が残っていますが、今のままではバス動線と歩行者の交錯が懸念されます。この歩道とガードパイプを撤去し、その分の歩行者空間を現在とは反対側の東側に再配置することで、乙丸線の車道幅は今までと同じままでバスと歩行者を安全に分離します。



- ・ この歩道部は、通学路ではありません。あくまでもバスと歩行者の接触を防止するものです。
- ・ 東側地区からの小学校の通学路は、花の木通りからラックホール敷地を抜けてその前の横断歩道を渡るルートの基本とします。これに合わせて、学校敷地への新たな階段及びスロープの設置を検討します。

■駅前が長年抱える交通課題を解消するロータリー

- ・ 新たなロータリー整備によって、市道由布院駅前線にバスを出さず、市道乙丸線に出入口を限定します。長年にわたる交通渋滞を解消し、安全に歩ける駅前通りを実現します。
- ・ ロータリーは、複数台が連なって運行される長距離高速バスなど、増え続けるインバウンドの送迎に柔軟に対応する使いやすい配置計画とします。
- ・ バス乗り場をバスセンターの至近に設置し、雨にぬれずに乗降できるシェルターを設置します。
- ・ バスロータリーは、バスの事業者しか入場できない専用施設です。出入口にはそれを示すサインを設置するとともに、路面には侵入防止として赤色マーキングを施します。
- ・ バス降車場から旅行者等が直接乙丸線を渡らないよう、幅広の緑地でしっかり防ぎます。



①～⑥: イメージ図を示す

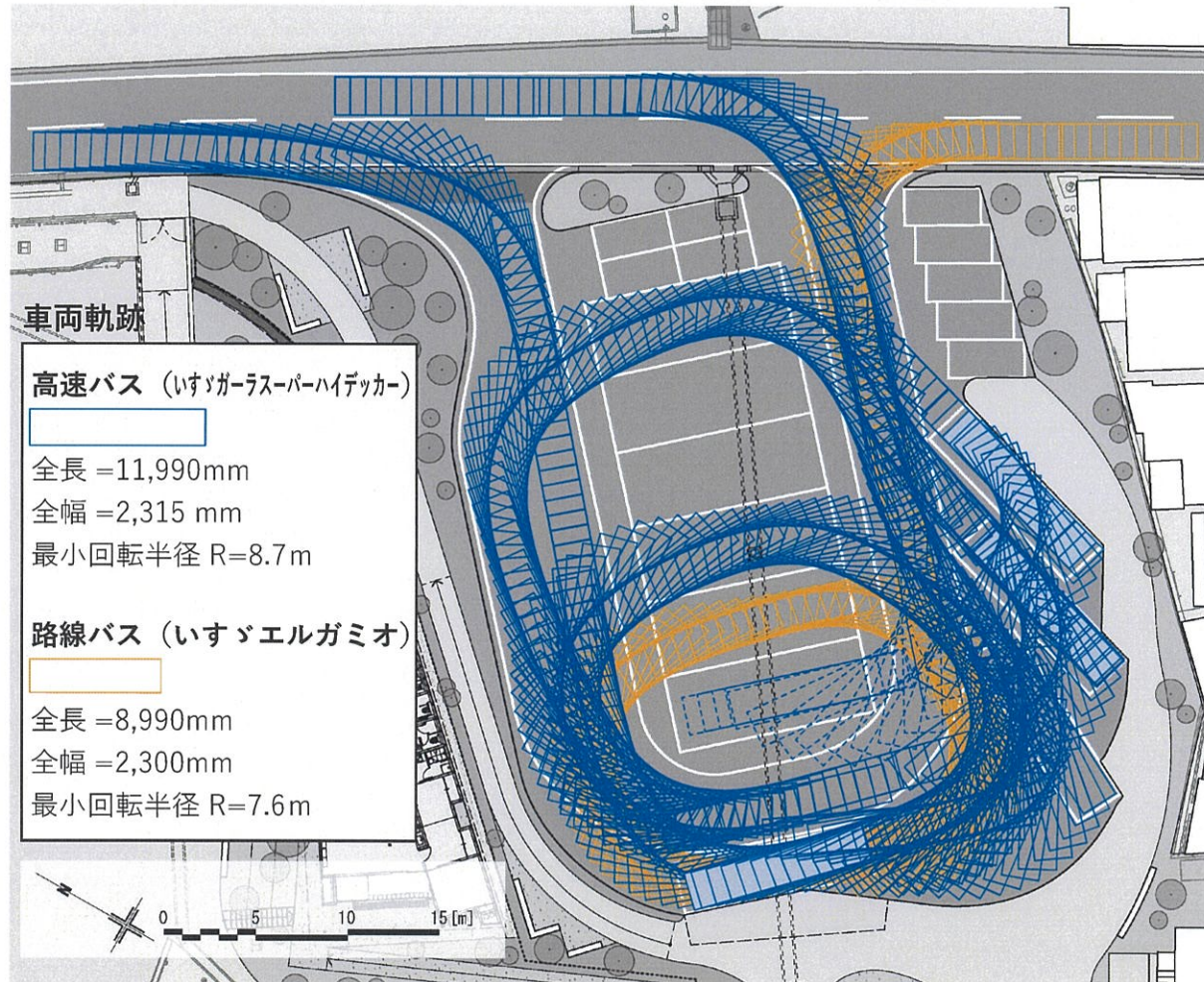
交通計画と配置計画

■必要十分なロータリー配置

- ・バスロータリーは、バスの回転軌跡を十分考慮しながら、最小限のスペースでレイアウトします。

■歩道と街角テラス、緑地をできるだけ確保

- ・バスロータリーをコンパクト化することで、その外周に歩行者空間をできるだけ確保します。
- ・歩行者空間は、由布岳を眺めながら散歩できる魅力的な散歩ルートになります。誰もが通り抜けられる地域動線として「里道」を設置します。



- ・里道を含む歩行者空間には、市民と観光客が等しく利用できて交流が生まれる「街角テラス」を数多く分散配置するとともに、積極的に緑地や緑陰空間を確保します。
- ・敷地南側には、緑地と歩道を連続して配置します。現在は塀が立ち並んで、駅前通り沿道の建物は背を向けていますが、新たな歩道ができれば、こちらに向けて出入口やテラスを設ける可能性が出てくると考えられます。歩道と緑地は、その可能性をあらかじめ準備するものです。



児童クラブ

■安心安全な児童クラブ

- ・新たな児童クラブは由布院小学校校庭に連携し、「こどもテラス」や「だんだん緑地」、階段、スロープなどは日常的に子供たちや関係者が利用できる施設となります。
- ・子どもたちを外部からの視線から守るため、公共通路である里道側は建築壁面を高くし、明り取りは高い屋根の下ぎりぎりに確保します(ハイサイドライト)。
- ・さらに、敷地境界に緑地とフェンスを連続させ、建築壁面が途切れる箇所には高さのある生垣を配置して、外から覗かれにくい、安心して子供たちが遊べる環境を整えます。



市民団体ヒアリング（4月24日から26日実施）各意見

- ・横断歩道を現在の位置から移設可能か警察に要確認
- ・西側に歩道が無くなった場合の通学路のルートの検討要(小)
- ・校門の直線状に横断歩道があると飛び出しの可能性が高いのでずらして欲しい(児)
- ・歩行者用の信号の設置を考えて欲しい(児)

横断歩道移設

(だんだん)緑地

- コンクリートベンチは照明を仕込むことも可能
- ・緑地が弧になっているのは(児)
- 造成量を減らすため
- ・だんだん緑地が児童クラブのためとなったら申し訳ない(児)
- ・だんだん緑地が開放できない、市民や観光客が利用できないとなると、市民の憩える緑地が少ないと思う(議)
- 公共事業として市民が使える場所は増やすべきと考えている

- 提案のプランは安全性や管理上の問題について反対が多くスペースを多目的に使えるように取りやめる

児童クラブ

- ・景観計画上、こう配屋根であれば大丈夫(市)
- ・色味はマンセル値を規定値以内に(市)
- ・児童クラブ棟の一般開放は難しい(市、児)
- ・児童クラブだけではなく一般にも開放すべき。(女)
- ・将来的に運用方法も変わってくるかも知れないので、そのことも考慮し設計を(ま)
- ・校庭側かつ図面下側をメインの入口に(商)
- ・事件・事故が起こらないように設計段階で配慮を(自)
- ・床暖房については要検討(コスト管理も含め)(商、児)
- ・冬が寒いため、風除室が必要(観、旅)
- ・児童クラブは安全とプライバシーが守られるように隔離(児)
- ・使いやすさを考えると三角形より四角形で(児)
- ・ランニングコストは児童クラブが払うので抑えて欲しい(児)
- ・室内の死角は少なく(児)
- ・取り換えなどがすぐできるよう設備は既製品で(児)
- ・床材は汚れ(嘔吐等も)を考慮したものに(児)
- ・送迎者は体育館裏に車を停めてくるので、その人たちが来やすいように(商、児)

バスセンター

- ・出口が乙丸線ということが良い。長年の懸案だった。(観、旅、駅前)
- ・バスロータリーが大きい。最小にする努力はしたのか(老)
- ・スペースが余っているような気がする(ま)
- この大きさがバスの軌跡的にも後退せずにギリギリで運用できる広さ
- ・観光客など一般車が入ってくる可能性があるのでは(商、駅前、自)
- 入口に一般車進入禁止等看板や路面標示で対応

安全性の確保

- ・観光客が子どもたちに接するというのは避けて欲しい。学校敷地や児童クラブに一般の人が進入できないように(商、観、旅、女、児、小、議)
- ・湯布院らしく緩やかに区切り子どもたちにも観光客にもいいように(ま)
- 学校敷地や児童クラブ部分に一般人が立ち入らないよう緩衝緑地帯と里道の場所を入れ替え、出入りはフェンスと門扉で区切る
- ・緩衝緑地では子どもたちがバスロータリーに入らないか(駅前)
- ロータリーとの間にはフェンスで仕切る

緑地

- ・緑地が少ないと感じる(ま)
- ・ベンチなどがあり空間があると良い。センターに人があふれているので、外にもっと座れるスペースがあると良い(ま、駅前)
- まちのテラスの他、児童クラブの右側や小学校入口付近を憩えるスペースとして整備

歩道移設

- ・バスを降りた人がそのまま出そうなので安全対策を(観、旅)
- 緑地を増すことで飛び出し防止対策を取る
- ・歩道無くしたら観光客が道路を歩きだすのでは(議)
- ・歩道を付け替えるという道幅は大丈夫か(観、旅)
- ・西側歩道に出入口がある店舗もある(市)

- ・将来、駅前通り方向に入り口がある商店が建て替えや改修をしたときにロータリー側からも出入りできるようになるともっと賑わいそう(商、観、駅前)
- 民地との緩衝帯を緑地にすることで対応が可能

駐車場スペース

- ・複合施設を作る時からここに駐車場を作るといった話だった(女)
- ・請願を出した経緯もあり駐車場があると嬉しい(議)
- 安全が確保でき、安全性を担保できればということだった。設計を進めて、それは無理と判断した
- ・条件(バスセンター、児童クラブ)を外した場合、駐車場は作れないか(老、料)
- ・鉄骨を組んだりして駐車場のスペースは取れないか(議)
- 駐車場自体のスペースというよりも動線の問題。ロータリーは最小のサイズで、出入口前後5mは安全性の問題で車の出入り口は設けられない。
- ・この中に(駐車場のスペースを)無理やり作るの難しいということは理解した。また安全性が高まることも承知した。ラックホールの駐車場の問題は解決していないので、公用車スペースの利用や、駅前駐車場の時間の延長などの対策等対応をお願いしたい(自)

バスセンター

- ・バスセンターの入口が分かりにくいと言われるので何かしら手立てを(ま)
- ・バスセンターの建替えも含めて考えるべきでは(議)
- ・現行のまま人を立てて誘導するという方法もある(議)

安全性の確保

- ・冬期の坂道の凍結対策を(商)
- ・里道は誰でも利用できるようにバリアフリーで(希)
- ・里道の明るさを確保して欲しい(商、)
- ・バスセンター側から子どもたちが授業をしている姿が見えないように配慮を(女、小)

()内は意見を述べた団体名
 (商)商工会、(観)観光協会、(旅)旅館組合、(女)女団連、(老)老人クラブ、(料)料飲業組合、(希)参加希望者
 (ま)まちづくり観光局、(駅前)駅前通り商店街、(児)児童クラブ、(小)由布院小学校、(議)市議会
 (自)自治委員会、(市)市役所
 ※その他団体は日程が合わず、懇話会へ案内

※表の見方

懇話会の意見の項目の色分けは、設計案に対してワークショップを行い、付箋の色で緑色が「いいね」、黄色が「もうちょっとこうだったら」、赤色が「心配」と思う意見をだしてもらいました。

分類	懇話会意見	回答、見解等
①安全確保	子どもの安全性	
	駅前安全面	
	横断歩道の移設、子どものとびだし防止、いいと思います。	
	児童クラブの安心・安全はとても高まりました！ひと安心	
	子どもの安全が一番	
	フェンスを高く。安全第一。子どもの	児童クラブ側からは緑地緩衝帯とフェンスで飛び出しを防止します。
	バス降車時の案内（車道に出ないような）	案内看板設置などバス事業者と協議します。
	グラウンドから小学生野球ボールが入るかも。何らかの対応を	防球ネットの設置を検討しています。
	歩行者に関する安全確保	緑地緩衝帯を設けロータリーへのとびだしを防ぎます。
	人の流れの動線を確認したい	ロータリーへは緑地緩衝帯で進入を防ぎ、人の動線としては駅側のまちのエントランス、西側から既存の里道、そして市道乙丸線側からの里道（施設内通路）を歩いて行き来出来ます。
①安全確保（バスセンター）	バスを降りた人の動きが心配	案内看板設置などバス事業者と協議します。
	乗降客が市道乙丸線にでて横断するその対策をどう講じるのか	市道乙丸線へは緑地緩衝帯で歩行者動線を区切り横断を防止します。
	バスを降車した人達の？道の伝達の徹底	案内看板設置などバス事業者と協議します。
①安全確保（フェンス）	フェンスをめだたなくしてほしい	緑地内にフェンスを組み込むことで存在感を弱めたいと考えています。
	フェンスの位置・色・高さが重要	基本的に児童クラブと里道の間の緑地内に配置する方針です。
①安全確保（里道）	自転車ルールが必要では？	安全確保のためのルールを皆さんと確認していきたいと思ひます
	今まで通り里道を通る人がいるのでは？周知、ルールの徹底を	〃
②がっこう階段	がっこう階段は児童クラブ玄関により近い位置が良い	児童クラブ玄関を南側に移動し、学校階段の位置もそこに合わせる方針です。
	がっこう階段の位置が使いづらい	〃
	この場所（児童クラブ入口に向けて）に階段が欲しいが一段高さが不安	〃
	（がっこう）階段の位置を玄関側に	〃
②児童クラブ	児童クラブの開放度が良い？具体的なシミュレーション※学校側の写真が見たい	
	学校にいる児童が丘の上の児童クラブを見上げるのは、、、ね	
	子ども（児童クラブ）のことを考えていただきありがとうございます。	
	児童クラブの安全性については十分な配慮がされたと考えます。	
	児童クラブの意見をよくくんでいただいている	
	防犯対策ありがたい（児童クラブ）	
	児童クラブの位置と形が良い	

分類	懇話会意見	回答、見解等
②児童クラブ（安心安全）	児童クラブの遊び場が屋内だけで退屈では。外に遊ぶ場所をつくり、屋内とつなげられないか	児童クラブには半屋外の屋根付き空間を確保する方針です。
	児童クラブの建物に避難所利用も想定して床暖房を設置して欲しい	ランニングコスト等も勘案しながら検討します。
	児童クラブへ迎えに行く車はどこに	現在も3クラブを運営しており、送迎車は小学校体育館前で運用中。現状と同じで問題はないとの児童クラブ側からの回答をもらっています。
②スロープ	スロープ	
	スロープがスペースをとりすぎてしまうのが気になる	スロープの勾配は5%が基準であり、高低差に応じて必然的に長さを確保しなくてはなりません。
	スロープの位置の要検討（緑を増やしたいスペース）	可能な限りの緑地は確保するようにします。
③バスロータリー	バス路線入り口が狭く感じる※入り口の緑地広いため？	バスの軌跡上、バスの運行には支障のない幅で設計しています。
	万が一バスが暴走した時の対策についても検討をお願いします。	バスロータリー周囲の縁石の高さと、児童クラブ側には敷地の高低差と緑地の緩衝帯もあるため、それで対策は可能と考えてます。
	従業員の駐車場は中に作らないといけませんか	従業員駐車場については、現バスセンター敷地内にもある施設です。
	そもそもバス会社と市の土地の話し合いがどこまで出来ているのが心配	現時点では何も決まっていない状況ですので、設計図が確定してから具体的な協議に入る予定です。
	バス降車、待機多すぎないか？	現バスセンター敷地内にある内容以上のものは設計には入れていません。
	従業員はどこの誰？黙って止めても大丈夫みただ	亀の井バスの営業所従業員と運転手の駐車場です。現敷地内にもある施設です。
	亀の井バスの利便性の向上が目立ちすぎる	現敷地内にある内容以上のものは設計には入れていません。また、バスの進路を駅前通りから乙丸線へ変更するために、敷地内で大型バスが転回するスペースを確保しなければならず、広く敷地が必要となるため、そういう印象になるかもしれません。
	バスセンターの今後の利活用はどう構想する	今回の跡地整備では、湯布院地域が抱える交通課題の解決にバス事業者の協力を頂くことがメリットの大きい活用方法と考えています。
	雨天時を考えてバスセンターから高速バス乗り場をもっと近づけないか？	敷地内でのバスの動線上、図面位置がバスを横づけできる最適な場所となっています。
	④緑地	緑地
一般の方を対象の里道とテラスの考え方は良いです。		
小学校の敷地内と考えて、小学生もみんなが使えるスペースになったらいいです		その方向で検討を進めます。
テラスに屋根を		半屋外の屋根付き空間を確保する方針です。
緑とフェンス内を学校敷地としてみんなが使えるとありがたい（児童クラブ）		その方向で検討を進めます。
ベンチ擁壁の利用度は少ないのでは		ベンチ擁壁はだんだん緑地の土留の役割もあります。
まちかどテラスのスペースで、果たしてくつろげるのか？トイレは？	由布岳を眺めて休めるさりげない溜まり場として想定しています。	

旧湯布院公民館跡地整備に係る市民懇話会意見まとめ 【実施日：令和5年5月23日、24日】

分類	懇話会意見	回答、見解等
	小学校グラウンドと児童クラブの境目のRがもったいない。大きめの緑の階段にしては？	できるだけ小学校のグラウンドに影響のない形で一体的に利用できるように考えています
	まちかどテラスが狭い	スペースは小さいですが、由布岳を眺めて休めるさりげない溜まり場として想定しています。
	市民の憩いのスペースが少ないのがとても気になる	まちかどテラスは、敷地内にスペースの許す限り数多く分散配置します。
⑤駐車スペース	駐車場がラックホールにできて良かった	駐車場の問題については跡地以外で解決できると判断し、ラックホール周辺で約15台程、追加で確保を見込んでいることをお知らせさせていただきました。
	十分な駐車スペース確保のための方法があるとしたら、ロータリー側（高）と校庭側（低）の高低差を利用して、半地下の駐車場を作るしかない。ただし事業費が増すので、予算的な無理がある。やはり諦めるか？	お見込みの通り予算的に難しいと思われる。
⑥歩道（市道乙丸線）	歩道を作りかえた時 段を作るのか	既存の歩道との間に段差は生じません。
	東側歩道を安全性を重視したものにしてほしい	安全性を重視し検討します。
	駅前通り側、歩道の移設？（※議事録からおそらく乙丸線	周辺の交通計画に関しては改めて検討します。
⑥歩道（市道乙丸線）	駅側歩道（おそらく乙丸線西側歩道）を検討（入れないようにする）	歩道として利用するとバスの動線と交錯し危険なので、歩道の廃止を検討します。
	東側歩道を広くしたら、乙丸線は狭くなるのでは？	西側歩道のスペースを東側に付け替えるだけなので、乙丸線の通行幅員は現状通りです。
	ここ（西側）は通れなくなるのどうか？植栽は？	バスとの交錯を考えると西側歩道は危険なものになります。
	歩道の安全性と通学路の再検討	通学路は花の木通りからラックホール敷地をぬけるルートが基本になると考えています。
⑦里道？	裸足で歩けるといいなあ～素材（タイヤチップ等）	参考にします。
	里道の確保について何か手を加えることはできないか？	
運用（送迎車）	一般車両が入れないのは理解できたが、送迎用の車が入るようにならないか	送迎車の問題については、公民館跡地での解決というよりは公共交通機関であるJRも含めた駅前地域全体で検討が必要と思われる。今後関係機関とも情報共有を行い検討を行います。
	利用客の送迎車はどうする	〃
運用（バスセンター）	高速バス乗り場は他社の観光貸切バスにも有料で使用できるようにすると良い（交通対策）	バスの運用に関するご意見ですので、バス事業者に提案します。
	市有地（バスセンター分）売却ではなく貸し付けが良い	具体的な協議はこれからになります。ご意見として伺っておきます。
コンセプト	コンセプトは良いですね	
	緑をまといまちをつなぐテーマ良いね	
その他	災害時の利用ルール	災害時には敷地内のロータリーを待機スペースなどで利用できるよう、バス事業者と協議を行います。
	バスロータリーの周囲への圧迫感（大型バスの駐車や出入りが周囲に与える脅威）を軽減する意味で、周囲より1m程度低くする。（水路を挟んで、実際にロータリー側と公民館跡地の高低差が1mある）	乙丸線との接続や外周歩道との関係を考えると、ロータリーレベルを大きく変えることは困難だと考えられます。
	早く着工して欲しい。娘が小学校を卒業してしまった。	長い時間をかけて検討してきましたので、皆さんに愛着を持ってもらえる場所にしていきたいと思っています。
	行政の当初設計が悪い	皆さんに意見を広く聞き設計案を決定していきます

旧湯布院公民館跡地整備に係る市民懇話会意見まとめ 【実施日：令和5年5月23日、24日】

分類	懇話会意見	回答、見解等
その他（交通課題の解決）	駅前の交通問題がクリアになり大変良い	
その他	フォトスポット	由布岳の眺望も良いことからそのように利用されるといいと思います。
その他設備	女子トイレを多く	周辺に利用できるトイレがいくつかあること、また整備する施設のスペースを敷地内に確保するため、設置予定はありません。
	太陽光発電	ランニングコスト等も勘案しながら検討します。
	一般の人の駐車場の案内を、看板等	ラックホールを利用される方の駐車場に関しては、分かりやすくご案内ができるよう整備中であり、跡地整備に関してもそのように対応をしたいと思いません。
	スロープの設置（学校入口）は是非実施して欲しい。（緊急時対策）	実施に向け関係課で協議中です。